

#### 4 多数出現種の体長組成

13種について、その体長組成をみると図Ⅱ-2に示される。マガリハダカは18.1-37.6mmの範囲でモードは24.1-26.0mmにある。ブタハダカは17.4-39.1mmの範囲でモードは20.1-22.0mmと28.1-34.0mmの2つの山がみられる。サンマは6.5-46.0mmの範囲で12.1-16.0mm、20.1-22.0mm、28.1-30.0mm、42.1-46.0mmの4つの山がみられる。サヨリトビウオは4.3-27.5mmの範囲で4.1-16.0が90%以上を占めている。ハゴロモトビウオは2.9-17.0mmの範囲でモードは4.1-8.0mmである。イダテントビウオは3.5-51.0mmの範囲でモードは6.1-8.0mm、ソーダガツオ属は2.9-19.3mmの範囲で2.1-8.0mmと14.1-16.0mmの2つの山が見られる。サバ属は2.3-28.0mmの範囲でモードは2.1-6.0mm、オヤビツチャは3.6-37.5mmの範囲で一様に分布している。ニシギンボは3.1-35.9mmで一様に分布している。ヒメジは3.6-16.9mmの範囲でモードは6.1-8.0mm、モンガラカワハギ科の一種は1.5-19.0mmの範囲でモードは6.1-8.0mm、ネズミギスは3.5-69.5mmの範囲でモードは6.1-8.0mmである。

